

奥州市景気動向調査

実績：令和5年4月～令和5年6月期 見通し：令和5年7月～令和5年9月期

令和5年7月

調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

◇今期のポイント

「業況・売上DI共に2期連続の改善 見通しは価格高騰の影響で依然厳しい見方」

- 全産業合計の業況DIは▲7.1と、前回調査(▲9.4)から2.3ポイント改善した。
- 全産業合計の売上DIは▲2.9と、前回調査(▲8.1)から5.2ポイント改善した。
- 向こう3ヵ月(7月～9月)の先行き見通しは、業況DI・売上DI共に今期実績よりも悪化する見通しとなった。
- 採算DI・資金繰りDI・仕入単価DIは前回調査よりも改善を示し、従業員DIは前回調査よりも人手不足感が緩和する結果となった。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行された事で、景気は徐々に上向きの傾向が見え始めている。今回調査にも結果が表れており、全産業合計の業況DI・売上DI共に2期連続の改善を示している。特にコロナ禍の期間中影響が大きかった宿泊・飲食業を含めたサービス業で大幅な改善が見られた。

一方、経済を取り巻く環境は依然不透明で、向こう3ヵ月の見通しについては、エネルギー価格の高騰や資材各種商品の値上げが今後も続くとの予測から、業況DI・売上DI共に悪化の見通しとなった。業種間で温度差は見られるが全体として厳しい見方を示している。

人手不足の状況については、業種全体で54.4%が人手不足を抱えおり、その理由は「中途採用者の確保が困難」「新卒者の確保が困難」「専門職・有資格者の確保が困難」となり、人員確保の難しさが伺える。

自由意見では「値上げしても原価の上昇の方が大きい」「仕入単価・固定費の上昇に対して売上は減少」等未だ続く原材料価格の高騰に対する懸念の声が聞かれた。

〔 調査要領 〕

- 調査期間：令和5年7月3日～18日
- 調査方法：奥州市内の事業所から業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対しFAXによるアンケート調査を実施
- 調査項目：令和5年4月～令和5年6月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

《調査票回収企業数》

回答数239 回収率79.7% (小売42・卸売31・製造52・建設47・サービス67)

※景況判断指数(DI値)について

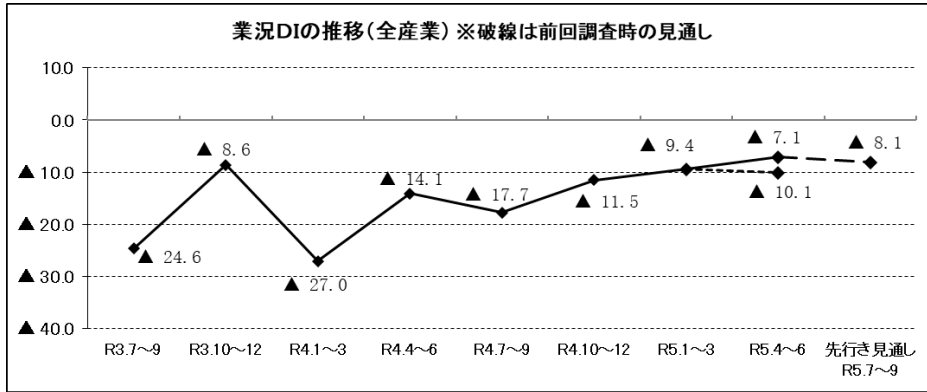
DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

$$\diamond DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

【業況DIの推移】

今回調査の全産業合計の業況DIは▲7.1と、前回調査(▲9.4)から2.3ポイント改善した。業種別では小売業が▲2.4(前回調査▲13.3)と10.9ポイントの改善、建設業が▲19.1(前回調査▲26.4)と7.3ポイントの改善、サービス業が13.4(前回調査4.6)と8.8ポイントの改善を示した。一方で卸売業が▲25.8(前回調査0.0)と25.8ポイントの悪化、製造業が▲15.4(前回調査▲11.3)と4.1ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(7月～9月)の業況DIの先行き見通しについては▲8.1と、今期実績よりも悪化する見通しとなったが、前回の調査見通し(▲10.1)よりも改善した。業種別では製造・建設業で数値が改善の見通し、小売・卸売・サービス業で数値が悪化の見通しを示している。



※前回調査との対比を
表す「矢印」について

▲26.0以上	↑
▲25.9～▲5.1	↘
▲5.0～▲5.0	→
▲5.1～▲25.9	↙
▲26.0以下	↓

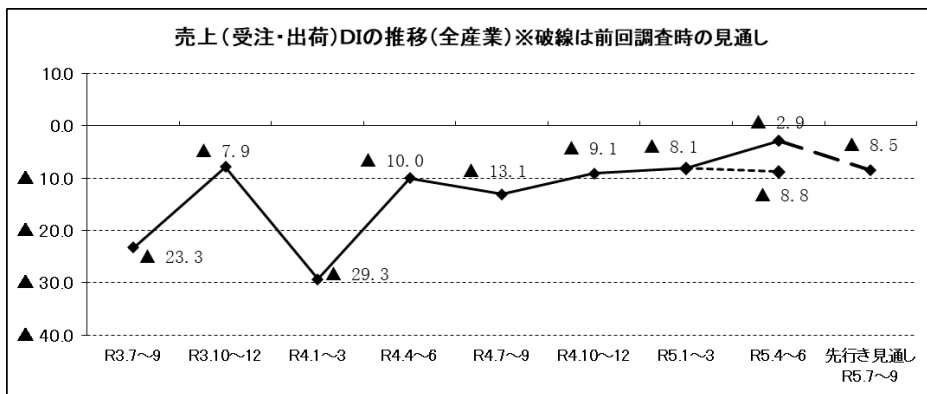
業況DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲2.4	↘ ▲25.8	↘ ▲15.4	↘ ▲19.1	↘ 13.4
前回	▲13.3	0.0	▲11.3	▲26.4	4.6
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲14.6	↘ ▲20.7	↘ ▲17.3	↘ ▲2.1	↘ 4.5
前回	▲11.9	▲13.8	▲24.5	▲18.0	10.9

【売上DIの推移】

今回調査の全産業合計の売上DIは▲2.9と、前回調査(▲8.1)から5.2ポイント改善した。業種別では小売業が▲2.4(前回調査▲6.5)と4.1ポイントの改善、製造業が▲1.9(前回調査▲5.7)と3.8ポイントの改善、サービス業が22.4(前回調査3.0)と19.4ポイントの改善を示した。一方で卸売業が▲16.1(前回調査▲3.4)と12.7ポイントの悪化、建設業が▲31.9(前回調査▲28.3)と3.6ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(7月～9月)の売上DIの先行き見通しについては▲8.5と、今期実績よりも悪化する見通しとなったが、前回の調査見通し(▲8.8)よりも改善した。業種別では製造・建設業で数値が改善の見通し、小売・卸売・サービス業で数値が悪化の見通しとなった。



売上DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲2.4	↘ ▲16.1	↘ ▲1.9	↘ ▲31.9	↘ 22.4
前回	▲6.5	▲3.4	▲5.7	▲28.3	3.0
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲24.4	↘ ▲24.1	↘ ▲9.6	↘ ▲8.7	↘ 9.0
前回	▲4.5	▲13.8	▲18.9	▲24.5	10.8

【採算・資金繰り・仕入れ単価・従業員D I】

採算DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲16.7	↔ ▲7.1	↘ ▲25.8	➡ ▲25.0	↔ ▲25.5	➡ ▲6.0
前回	▲20.7	▲13.0	▲17.2	▲28.3	▲34.6	▲10.6
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲17.9	➡ ▲22.0	➡ ▲31.0	↘ ▲28.8	↔ ▲10.9	➡ ▲6.0
前回	▲19.5	▲18.2	▲27.6	▲22.6	▲32.0	▲4.6

全産業合計の採算DIは▲16.7と、前回調査(▲20.7)から4.0ポイント改善した。業種別では小売・製造・建設・サービス業で数値が改善、卸売業で数値が悪化を示している。

※DI値 = (好転) - (悪化)

資金繰りDI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲10.6	➡ ▲7.3	➡ ▲19.4	➡ ▲11.5	↘ ▲19.6	↔ ▲1.5
前回	▲12.7	▲8.9	▲17.2	▲11.3	▲13.2	▲13.8
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲12.5	↘ ▲12.5	↘ ▲24.1	➡ ▲15.7	↔ ▲10.9	➡ ▲6.1
前回	▲11.8	2.4	▲17.2	▲15.1	▲20.0	▲9.5

全産業合計の資金繰りDIは▲10.6と、前回調査(▲12.7)から2.1ポイント改善した。業種別では小売・サービス業で数値が改善、卸売・製造・建設業で数値が悪化を示している。

※DI値 = (好転) - (悪化)

仕入れ単価DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↔ ▲74.4	↔ ▲71.4	↔ ▲80.0	➡ ▲78.8	↔ ▲73.9	➡ ▲70.3
前回	▲80.2	▲87.0	▲85.7	▲83.0	▲81.1	▲69.8
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↔ ▲69.5	↔ ▲78.0	↘ ▲82.8	↔ ▲63.5	↔ ▲65.2	➡ ▲66.2
前回	▲76.8	▲88.6	▲71.4	▲79.2	▲78.0	▲67.7

全産業合計の仕入れ単価DIは▲74.4と、前回(▲80.2)から5.8ポイント改善した。業種別では小売・卸売・製造・建設業で数値が改善、サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値 = (下落) - (上昇)

従業員DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ 31.9	↘ 17.5	↘ 25.8	↘ 13.7	➡ 53.2	➡ 42.4
前回	37.6	29.5	37.9	22.6	52.8	42.4
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ 33.5	↘ 15.4	➡ 27.6	➡ 19.6	➡ 51.1	➡ 44.8
前回	37.7	31.0	31.0	22.6	54.0	44.6

全産業合計の従業員DIは31.9と、前回(37.6)から5.7ポイント人手不足感が緩和する結果となった。業種別では建設業で人手不足感が強まり、サービス業で人手不足感が変わらず、小売・卸売・製造業で人手不足感が緩和する結果となった。

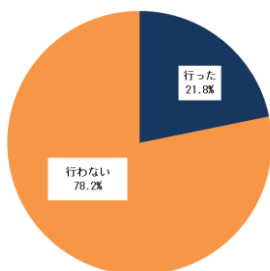
※DI値 = (不足) - (過剰)

【経営環境】

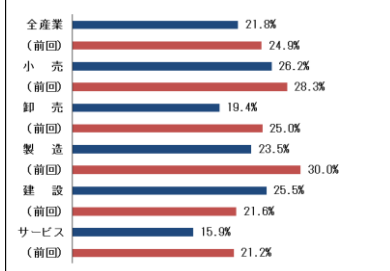
天候の影響(%)	天候の影響(%)			人件費率(%)	人件費率(%)			業種間競争(%)	業種間競争(%)		
	好影響	影響なし	悪影響		上昇	変化なし	低下		緩和	変化なし	激化
全産業	3.1%	80.3%	16.7%	48.7%	45.2%	6.1%	0.0%	69.9%	30.1%		
(前回)	12.7%	71.3%	16.0%	44.4%	50.2%	5.4%	1.2%	68.2%	30.6%		
小売業	10.3%	74.4%	15.4%	36.8%	55.3%	7.9%	0.0%	58.5%	41.5%		
(前回)	11.4%	68.2%	20.5%	45.5%	50.0%	4.5%	2.2%	62.2%	35.6%		
卸売業	3.3%	76.7%	20.0%	38.7%	54.8%	6.5%	0.0%	67.7%	32.3%		
(前回)	22.2%	63.0%	14.8%	33.3%	63.0%	3.7%	0.0%	75.0%	25.0%		
製造業	2.0%	89.8%	8.2%	62.0%	36.0%	2.0%	0.0%	75.0%	25.0%		
(前回)	4.0%	90.0%	6.0%	43.1%	49.0%	7.8%	1.9%	71.2%	26.9%		
建設業	0.0%	71.7%	28.3%	51.1%	40.0%	8.9%	0.0%	65.2%	34.8%		
(前回)	20.0%	62.0%	18.0%	46.2%	48.1%	5.8%	2.0%	56.9%	41.2%		
サービス業	1.6%	84.4%	14.1%	48.4%	45.3%	6.3%	0.0%	77.8%	22.2%		
(前回)	10.6%	69.7%	19.7%	47.8%	47.8%	4.5%	0.0%	75.8%	24.2%		

天候の影響は、全産業で好影響が3.1%、影響なしが80.3%、悪影響が16.7%の回答となった。人件費率は、全産業で上昇が48.7%、変化なしが45.2%、低下が6.1%という回答となった。業種間競争は、全産業で緩和が0.0%、変化なしが69.9%、激化が30.1%という回答となった。

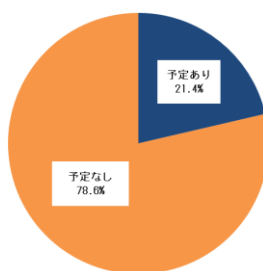
設備投資を行ったか



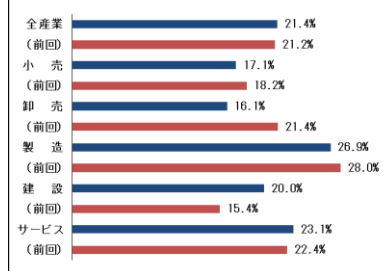
業種別：設備投資を行った企業の割合



設備投資予定



業種別：設備投資予定あり企業の割合



設備投資は全産業で21.8%の事業所が「行った」と回答があり、前回数値(24.9%)よりも減少した。今後設備投資の予定があると答えた事業所は21.4%となり前回調査(21.2%)よりも増加した。

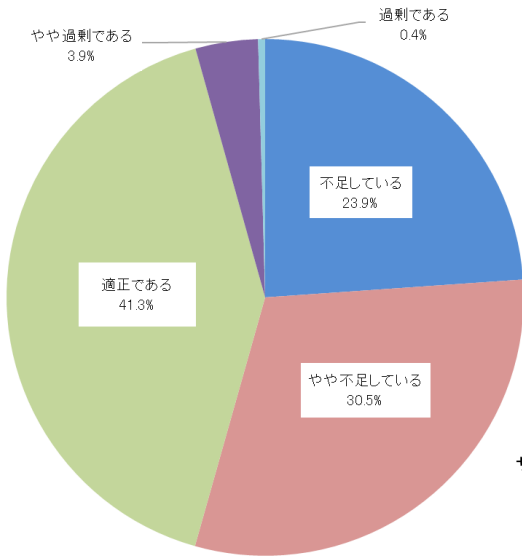
【臨時調査】人手不足の状況について

経済活動が本格化すると同時に「人手不足」という問題が表面化中、その状況について質問した。

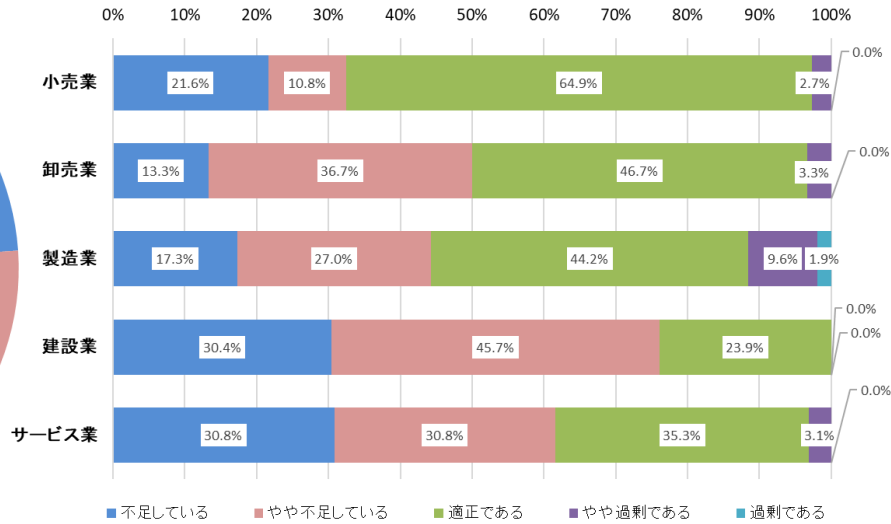
現在の従業員の過不足状況を聞いたところ、業種全体で「不足している」が23.9%、「やや不足している」が30.5%となり、合わせて54.4%が人手不足を抱えている事が伺える。一方で「適正である」が41.3%となっている。

業種別では、卸売・建設・サービス業が「不足している」「やや不足している」合わせて50%以上なのに対し、小売・製造業は50%未満となり、業種間の格差がある事が伺える。

現在の従業員の過不足状況は
どうなっていますか(全業種)

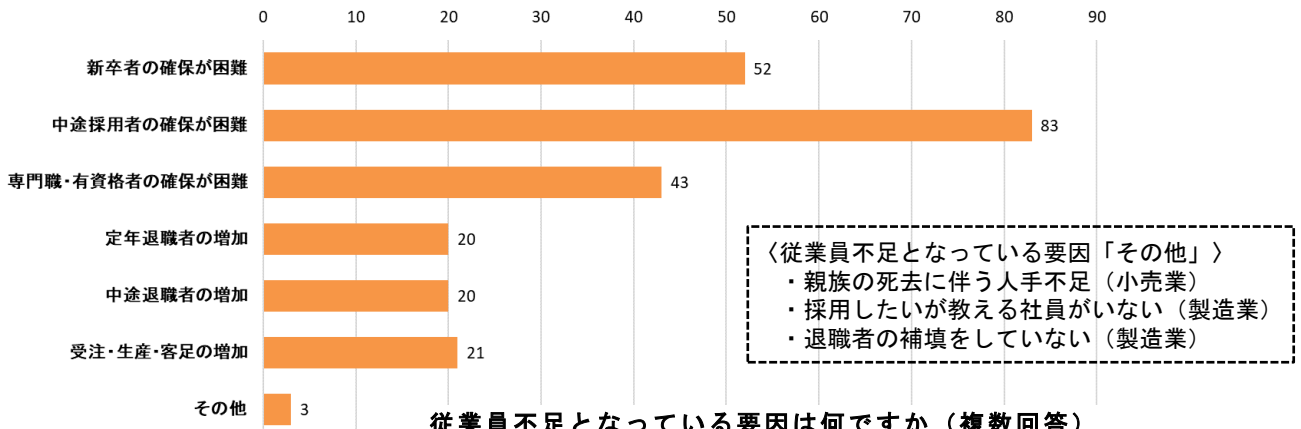


現在の従業員の過不足状況は
どうなっていますか(業種別)



業種全体で従業員が「不足している」「やや不足している」と回答した件数は125件（全体の54.4%）だったが、その要因を複数回答で聞いたところ、「中途採用者の確保が困難」が83件、「新卒者の確保が困難」が52件、「専門職・有資格者の確保が困難」が43件となり、全業種通して人員確保の困難さが伺える結果となった。業種別で特徴的なのは、サービス業で「受注・生産・客足の増加」という回答が多く、特に飲食・宿泊業でその回答が多かった事が挙げられる。

従業員不足となっている要因は何ですか※全業種(複数回答:件)

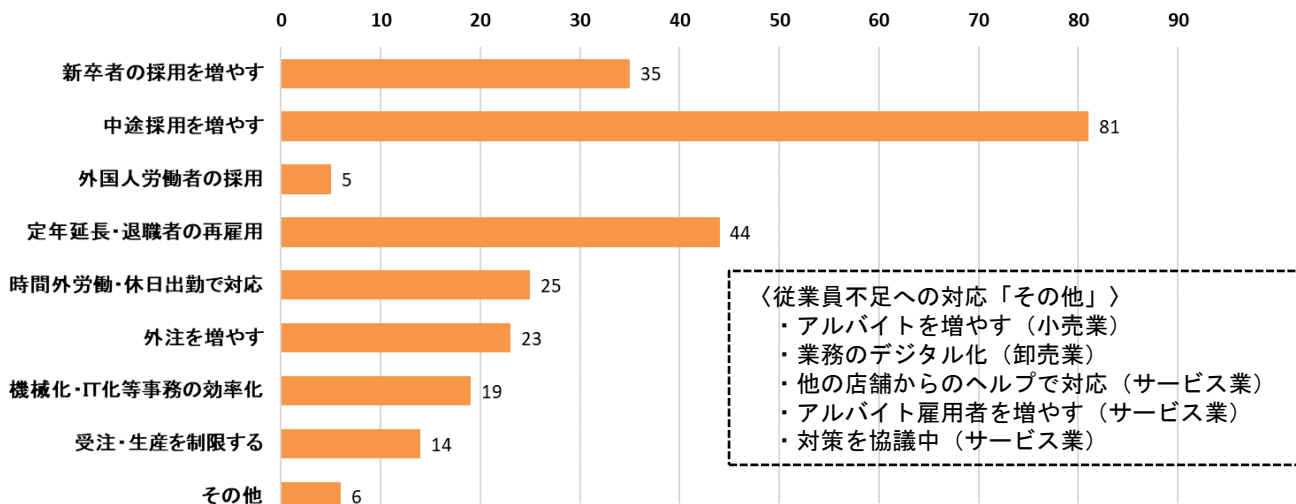


従業員不足となっている要因は何ですか(複数回答)

	小売業	卸売業	製造業	建設業	サービス業
新卒者の確保が困難	5	7	9	19	12
中途採用者の確保が困難	9	10	16	20	28
専門職・有資格者の確保が困難	2	2	4	18	17
定年退職者の増加	4	2	5	5	4
中途退職者の増加	2	3	4	5	6
受注・生産・客足の増加	1	0	4	5	11
その他	1	0	2	0	0

また、従業員不足への対応について、こちらも複数回答で聞いたところ、「中途採用を増やす」が81件、「定年延長・退職者の再雇用」が44件、「新卒者の採用を増やす」が35件という結果となった。業種別で見ると、建設業では「外注を増やす」「受注・生産を制限する」、サービス業で「時間外・休日出勤を増やす」という回答が見受けられ、人手不足への対応にどの業種も苦慮している事が伺える。

従業員不足への対応はどうしていますか※全業種(複数回答:件)



従業員不足への対応はどうしていますか (複数回答)

	小売業	卸売業	製造業	建設業	サービス業
新卒者の採用を増やす	4	3	6	14	8
中途採用を増やす	8	11	15	24	23
外国人労働者の採用	1	0	3	1	0
定年延長・退職者の再雇用	6	2	8	16	12
時間外労働・休日出勤で対応	3	3	4	6	9
外注を増やす	0	1	3	13	6
機械化・IT化等事務の効率化	0	2	3	8	6
受注・生産を制限する	2	0	2	6	4
その他	1	1	0	0	4

【自由意見(抜粋)】

(小売業)

- ・仕入単価、固定費の上昇に対して売上は減少し、コロナ禍と比較しても悪化に歯止めがかからない。
- ・コロナ禍から4年、景気は依然厳しいと痛感している。
- ・メイプルの閉店に伴い、客の往来が全く無くなった。
- ・昨年のPayPayキャンペーンでの売上増加と比較して、今年は前年割れとなっている。

(卸売業)

- ・昨今の異常気象から、当社においてSDGs宣言の策定をするべく、金融機関の協力を得ながら現在取り組んでいる。
- ・商品の値上げについて取引先との交渉が続いている。値上げ商品が増加しそうである。
- ・物価上昇に伴って給料の上昇が追い付いていけないため、経済的に厳しい状況にある。景気が良くなる材料が見当たらない。

(製造業)

- ・インボイスの影響が特に心配である。
- ・値上げしても、原価の上昇の方が大きい。
- ・人手不足感が増加、求人も殆ど面接希望なし。

(建設業)

- ・胆江地区の建築物件は少ない。設備工事業の従業員不足が大きい。若手人材は製造業に流れて行っていると思う。
- ・県と市の公共工事が少なく心配である。

(サービス業)

- ・人手は、退職者の再雇用や見習い工の補充で何とか適正人数を保っているが、いつ不足するか分からない。

◇奥州市景気動向調査票《実績4～6月期》

いつも大変お世話になっております。

標記につき、当てはまると思うものに○をつけ「7月12日(水)」までにご返信をお願い致します。

※この調査票の個別の記載情報は奥州商工会議所・前沢商工会内限りと致します。

事業所名 _____

(1) 業 種：あなたの事業の業種についてお答え下さい。

A 小売業 B 卸売業 C 製造業 D 建設業 E サービス業

(2) 業況判断：あなたの企業の業況は、前年同期(4月～6月)から見てどのような状況と判断されますか？

① 4～6月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(3) 売上高：売上高(受注高・出荷高)は、前年同期(4月～6月)から見てどうですか？

① 4～6月実績

増加	変わらず	減少
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

増加	変わらず	減少
----	------	----

(4) 採 算：採算は、前年同期(4月～6月)から見てどうですか？

① 4～6月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(5) 資金繰り：資金繰りは、前年同期(4月～6月)から見てどうですか？

① 4～6月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(6) 仕入単価：仕入単価は、前年同期(4月～6月)から見てどうですか？

① 4～6月実績

下降	変わらず	上昇
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

下降	変わらず	上昇
----	------	----

(7) 従業員数：従業員数は、前年同期(4月～6月)から見てどうですか？

① 4～6月実績

不足	適正	過剰
----	----	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

不足	適正	過剰
----	----	----

(8) 経営環境：4月～6月の経営状況について、該当する項目にお答え下さい。

①天候の影響

好影響・影響なし・悪影響

 ②人件費率

上昇・変化なし・低下

 ③業種間競争

緩和・変化なし・激化

④設備投資

行った・行わない

 ⑤設備投資予定(今後3ヵ月以内)

予定あり・予定無し

◎臨時調査 人手不足の状況について

コロナ禍の行動制限が解除され、経済活動が本格化すると同時に、隠れていた「人手不足」という問題が顕在化してきました。企業では人を募集してもなかなか集まらないという状態が続いています。そこで今回の臨時調査は「人手不足」に焦点を当てます。

(9-1) 貴社では現在の従業員の過不足状況はどうなっていますか。

不足している	やや不足している	適正である	やや過剰である	過剰である
--------	----------	-------	---------	-------



「不足している」「やや不足している」と回答した方のみ(9-2)(9-3)へ

(9-2) 従業員不足となっている要因は何ですか(複数回答)

- ・新卒者の確保が困難
- ・中途採用者の確保が困難
- ・専門職、有資格者の確保が困難
- ・定年退職者の増加
- ・中途退職者の増加
- ・受注、生産、客足の増加
- ・その他()

(9-3) 従業員不足への対応はどうしていますか(複数回答)

- ・新卒者の採用を増やす
- ・中途採用を増やす
- ・外国人労働者の採用
- ・定年延長、退職者の再雇用
- ・時間外労働、休日出勤で対応
- ・外注を増やす
- ・機械化、IT化等事務の効率化
- ・受注、生産を制限する
- ・その他()

(10) その他、最近の業況について感じている事、取り組んでいる対策について自由にご記入下さい。